

認定農業者だより

編集・発行 芳賀農業振興事務所（経営普及部）
〒321-4305 真岡市荒町116-1 4F
Tel 0285-82-3074 FAX 0285-83-6245
HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g53/index.html>



～ 管内の認定農業者を紹介します ～



こばやし ゆういち
真岡市認定農業者協議会長 小林 友市さん

今回は、真岡市認定農業者協議会長や芳賀地方認定農業者協議会会計として活躍されている、真岡市の小林友市さんにお話を伺いました！

Q 就農のきっかけや経営状況について教えてください。

A 農大を卒業後21歳で就農しました。水稻（主食米：コシヒカリ、とちぎの星12ha、飼料用米：あさひの夢4ha）、二条大麦（とちのいぶき3ha）、小麦（タマイズミ2ha）のほか、父の代から57年続けているしめ縄づくりを行っています。（写真は、自身で製作したしめ縄）最近はしめ縄づくりができる人が減少してきており、息子への技術伝承にも取り組んでいます。



Q 水田を取り巻く環境や展望についての考えをお願いします。

A 米の需要が低下してくる中、稲作を魅力あるものとして収入を増やすためには、規模の拡大や主食米を減らして飼料米を増やすなどの取組を今後積極的に行っていく必要があります。

また、収入を増加させるとともに、経費の抑制や省力化も必要になってきます。例えば除草作業の省力化のために一昨年からはドローンによる除草剤散布を始めましたが、これまでの動力噴霧器による薬剤散布に比べて人手も時間も圧倒的に少なくなりました。側条施肥による肥料の抑制も経費削減に役立っています。今後は機械の自動化が進んでくれば、ますます省力化が図られることと思います。

Q 地域の農業を担う皆様にアドバイスをお願いします。

A 農業を取り巻く環境が大きく変化していくなかでも、時勢を見極め、アンテナを高くして新しい技術を取り入れ、単収を上げたり経費抑制や省力化の方法を自ら考えて工夫することで「魅力ある農業」を見つけていってほしいと思います。



小林さん、ありがとうございました。今後益々のご活躍を期待しています！

特集！「土地利用型園芸の推進について」
～収益性の高い露地野菜にチャレンジしましょう！～

主食用米の需要が減少する中、水田を有効に活用した収益性の高い農業を実現するため、需要の高い露地野菜等をはじめとする土地利用型園芸作物の作付拡大を進めることが重要になっております。

本県では、加工・業務用の露地野菜の生産拡大を図るため、そのモデルとなる「土地利用型園芸モデル産地」の取組を支援しています。現在、県内で28地区で取組が進められ、このうち芳賀地方では下記の4地区において取組が進められています。

土地利用型園芸モデル産地の取組状況

①真岡地区産地づくり構想【平成30年度承認】

- 取組品目：ねぎ、にんじん、キャベツ
- 面積の目標：4.5ha→14.7ha（令和2年度）
- 令和2年度実績：14.7ha（見込み）
- ☆取組品目全てに省力機械を導入し、水田における大規模露地野菜経営を実践しています。



キャベツ定植機

②はが野地区産地づくり構想【平成30年度承認】

- 取組品目：たまねぎ
- 面積の目標：0ha→11ha（令和2年度）
- 令和2年度実績：12.4ha（見込み）
- ☆需要があり、出荷規格を簡素化できる加工・業務用出荷を農協の部会が新たに取り組んでいます。



導入した防除機

③益子町露地野菜産地づくり構想【令和元年度承認】

- 取組品目：しょうが、にんじん、たまねぎ
- 目標：0ha→11.5ha（令和3年度）
- 令和2年度実績：5.2ha（見込み）
- ☆需要があり、販売価格が安定している加工・業務用野菜等の契約出荷に取り組んでいます。



にんじんの栽培状況

④芳賀町露地野菜産地づくり構想【令和2年度承認】

- 取組品目：キャベツ、ねぎ、にんじん等
- 目標：1.0ha→11.9ha（令和4年度）
- 令和2年度実績：4.6ha（見込み）
- ☆ほ場整備に伴う農地の大区画化や加工・業務用野菜の生産・出荷に取り組む企業の参入により、キャベツ等の作付拡大が期待されます。



キャベツの栽培状況

(企画振興部企画振興課 0285-82-4720)
(経営普及部野菜課 0285-82-3074)

★県では土地利用型園芸（露地野菜）の産地化への取組を支援しています。

○土地利用型園芸産地展開加速化事業について

(1) ソフト事業

- ・補助内容：優良種苗の試験栽培、商談会展等の販路獲得に係る費用 等
- ・補助率：1/2以内

(2) ハード事業

- ・補助内容：栽培用機械、施設等の導入
- ・補助率：施設4/10以内、機械1/3以内

※ 令和3年度栃木県一般会計予算が原案とおり成立しなかった場合には、上記事業内容の変更等を行うことがあります。

(企画振興部企画振興課 0285-82-4720)
(経営普及部野菜課 0285-82-3074)

☆園芸総合相談所（愛称：みのりす）のご案内☆

芳賀農業振興事務所では「園芸総合相談所」（愛称・みのりす）を、開設しています。



新規作付けや規模拡大、栽培指導、補助事業や流通・販売など、園芸導入に関する相談なんでも承りますので、お気軽にお越し下さい。

(経営普及部野菜課ほか 0285-82-3074)

～令和2年度栃木県土地利用型園芸コンクール～掲載 芳賀町 古谷康典氏が「審査委員特別賞」を受賞

芳賀町の古谷康典氏が水田を活用した「たまねぎの生産拡大」に対する取組が評価され、審査委員特別賞を受賞しました。

古谷氏がたまねぎの生産規模を拡大したきっかけは、平成26～28年にたまねぎの販売価格が高く、それにより増加した利益を設備投資に充て省力機械を整備したことです。現在は2ha（水田率100%）を栽培しています。

経営改善の一環として、軽労化による作業効率の向上を追求しており、主な工夫のポイントは次のとおりです。

- ①収穫作業は拾上げ機の活用により、手でたまねぎを触ることなく鉄コンテナに収納できるようにした。
- ②乾燥用ハウスから選果機への運搬は、自作の専用木箱を使用しフォークリフトの活用を可能にした。
- ③自宅隣接地にほ場を集約した（農地中間管理機構を活用）。

また、令和2年度からJAはが野芳賀地区玉葱部会の部会長を務め、地域全体のたまねぎの振興に貢献しています。



(経営普及部野菜課 0285-82-3074)

令和2年産なし着果不足に伴う作柄不良を振り返る

— 凍霜害・低温被害による結実不良を繰り返さないために！！ —

1 令和2年産なし着果不足の要因

- ✚ 春季の気温が高く、生育が大幅に前進したことで、開花は平年より10日以上早く、その間の強い冷え込みが影響し、花托（果托）に火ぶくれ症状が発生しました（写真1）。
- ✚ さらに、開花期中の気温が平年より低く推移し、受粉に適した15℃以上の暖かい日が限られていたことで深刻な結実不良が発生しました（図1）。



写真1 果托の火ぶくれ症状(凍霜害)

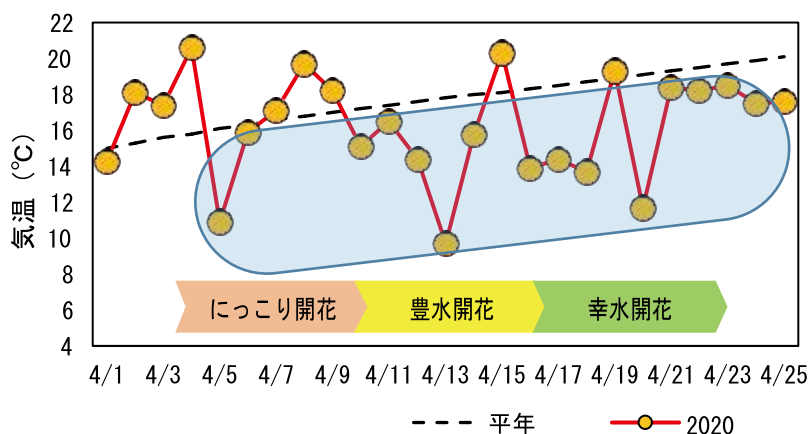


図1 令和2年産なし開花期における日最高気温(アメダス:真岡)

2 結実確保のための技術対策

(1) 防霜対策

- ✚ 防霜ファン設置園は、3月15日頃までに事前の試運転を完了させ、3月中下旬の早い時期から作動できるよう準備しておきましょう。硬い蕾（写真2）の状態にあっても-3℃を下回るような厳しい冷え込みがあった場合は、雌しべが枯死することがあるので防霜ファンの作動開始時期が遅れないよう注意してください。
- ✚ 気温が-4℃以下に下がった場合は、送風法では防霜効果が劣るため、万が一に備えて燃焼資材も準備しておきましょう。

＜なしの発育程度別の危険限界温度＞

硬い蕾	膨らんだ蕾	開花直前	満開期	落花直後
-2.7℃	-1.9℃	-1.9℃	-1.5℃	-1.4℃

*上記の温度に30分以上遭遇した場合に危険である。



写真2 硬い蕾(出蕾期)

(2) 結実確保対策（人工受粉）

- ✚ 開花が早まる年は、自家採取花粉や輸入花粉を多めに確保し備えましょう。輸入花粉を使用する場合は、10aあたり純花粉20g程度用意しておくと安心です。
- ✚ 開花期中に凍霜害に遭った場合は、その後人工受粉を1～2回追加して行い、結実確保に努めましょう。
- ✚ 花粉が十分に確保できない場合は、毛ばたき等を使って異品種との「花合わせ（受粉）」を行うことで、結実率を約10%高めることができます（写真3）。



写真3 果托の火ぶくれ症状(凍霜害)

芳賀地区農業者サミットを開催しました

令和2（2021）年11月12日（木）、フォーシーズン静風において、芳賀農業振興事務所、芳賀地区農業者懇談会主催による、芳賀地区農業者サミットを開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒や検温、ソーシャルディスタンスの確保など対策を万全にしたうえで、管内の担い手の皆様の経営改善のヒントとなるような基調講演や活動発表を行い、当日は72名と多くの方に御参加いただきました。



◆基調講演 花き生産における現場改善事例



- ・ 講師に、有限会社エフ・エフ・ヒライデ代表取締役・栃木県農業士の平出賢司氏をお招きし、「花き生産における現場改善事例～ユリ切り花生産での生産性向上～」というテーマで花き生産における選別工程、定植工程における生産性向上の取組みについて基調講演を行いました。
- ・ 講演の中では、工程を道のり表に細かく分割し、作業員の作業の様子を動画で撮影するなど、正確な現状把握をもとに工程時間の短縮のために必要な要因を分析し、優先順位をつけて対策を行った事例や、製造産業等の工場における現場管理に活用されている5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を、花き生産現場に導入した事例について説明していただきました。
- ・ 講演後に参加者に実施したアンケートでは、普段何気なく行っている作業の仕方を見直すことで自身の経営においても生産性の向上を図る余地があることに気づいたので、できることから実践してみたいとの声がありました。

◆活動発表 市貝町農村生活研究グループ協議会

- ・ 会員数の減少、会員の高齢化等、農生研の活動のマンネリ化に対して、普段の活動に、「世代間交流」、「組織間交流」、「都市農村交流」という3つの「交流」を交えることで脱マンネリ化を図った取組について紹介していただきました。

写真は左から、小林慶子さん、小沢正子さん、小埜美以さん



（経営普及部経営指導担当 0285-82-3074）

新 栃木県農業士・名誉農業士の紹介

令和3（2021）年1月8日（金）に以下の6名の方が、栃木県農業士・名誉農業士の認定を受けました。

◆新農業士：菅谷 佳宏さん（真岡市：水稻+麦）

無人ヘリコプターを利用して水稻の薬剤散布、飼料用米の湛水直播を実施し省力化に努めています。農薬はローテーション散布に取り組んでいます。

また、JAはが野無人ヘリコプター協議会のオペレーターとして、JAはが野管内及び他県の防除を実施しています。



◆新農業士：一木 茂さん（真岡市：いちご+水稻）

いちごは、超早出し（10月中旬）～5月末日までの長期間に渡る継続的な出荷により、高収量・高収益を上げています。

本圃では、土壌診断に基づき必要最低限の化学肥料等を施用するとともに、IPM技術（天敵等）を導入し、化学農薬に頼らない効率的な防除を行っています。



◆新農業士：篠崎 恭明さん（芳賀町：いちご+水稻）

いちごは、厳冬期を中心に炭酸ガス施用による大玉発生率の向上やIPM技術（天敵等）を導入した減農薬栽培による「安全・安心ないちご」作りに努めています。

今後は、更に20a程度の規模拡大を計画しています。



◆新名誉農業士：鈴木 きみいさん（益子町：水稻+麦+大豆）

栃木県女性農業士として20年間、持ち前の明るさと親しみやすさで地域活動を広げ、JAはが野女性会長を歴任し、農村女性組織の育成指導を行いました。

また、『お手軽料理レシピ本「我が家のビ・スケット」』を刊行し、地産地消の推進に貢献しています。



◆新名誉農業士：小幡 隆さん（茂木町：こんにゃく+水稻）

栃木県農業士として20年間、持ち前の積極性でリーダーシップを発揮し、JAはが野こんにゃく部会長や茂木町農業委員会委員、JAはが野茂木地区理事を歴任し、こんにゃくの生産振興及び茂木町の農業振興に貢献しています。



◆新名誉農業士：人見 悦夫さん（芳賀町：水稻+麦+大豆+いちご）

栃木県農業士として20年間、持ち前の誠実さで地域活動を展開し、県農業大学校1年生の研修先として研修生を受け入れ、芳賀地区農業士会長や芳賀町農業委員会委員を歴任し、農業後継者の確保・育成や地域農業振興に貢献しています。



（経営普及部経営指導担当 0285-82-3074）

コンクール表彰等受賞者の紹介

令和2年度優良担い手表彰

<優良集落営農の部>

【栃木県担い手育成総合支援協議会長賞】最優秀賞
【栃木県知事賞】

(株) 益子未来ファーム

(益子町：水稲、麦、大豆、アスパラガス等)

地区の垣根を越えた集落営農組織との連携やICT技術導入による作業の効率化、「道の駅まじこ」とも連携した加工品の開発、販売など地域の活性化に寄与しているほか、研修生を受け入れることで将来の担い手育成活動にも力をいれていることなどが高く評価されました。

<優良認定農業者の部(個人)>

【栃木県担い手育成総合支援協議会長賞】優良賞

藤平 隆一さん(市貝町：水稲、麦、大豆)

生産方式や経営管理等において、効率的かつ安定的な農業経営を行い、土地利用型園芸の導入を計画しているなど、地域の中心的な担い手として活躍していることが高く評価されました。



益子未来ファーム 宮崎氏・笹沼氏

第2回(令和2(2020)年度)栃木県農業大賞

<農村活性化の部>

【大賞】関東農政局長賞・栃木県知事賞 さかがわ協議会(茂木町)

農村レストランを軸とした複合施設「いい里さがわ館」を拠点に活動を展開。女性の視点を生かした加工品づくりや観光業と連携したミツマタ群生地を活用による新たな交流人口の創出など、地域が主体的に創意工夫した取組が地域貢献に大きく寄与していることが高く評価されました。



さがわ協議会の皆さん

<農業経営の部>

【栃木県知事賞】野口 一樹さん(真岡市)

県内トップクラスの大規模いちご農園経営者。高い技術力により単収は県平均を大きく上回る実績を誇っています。地域に先んじて新品種や新技術を検証・導入するとともに、6次産業化等による自家農園のブランド化を目指しながら、「いちご」を通じた地域活性化への貢献が高く評価されました。



野口一樹さん

<芽吹き力賞>

【特別賞】下野新聞社長賞 倉本 祐樹さん・倉本 芙美さん(市貝町)

夫の祐樹さんは料理人、妻の芙美さんは管理栄養士だった経験を活かし、野菜の生産と中食事業を柱に農業経営を展開。消費者との交流を深めながら、有機栽培で生産した旬の食材を使ったお弁当づくりを通じて伝統野菜の魅力を伝えるなど、新たな着想による取組が評価されました。

第2回(令和2(2020)年度)栃木県農業大賞

中央入賞・優良賞 松原 努さん(茂木町)

受賞作品「有機農業で里山・茂木町を元気にする！」

有機農業を実践する中で、地元小学校の校庭菜園の指導や農家仲間と立ち上げた産直グループによる学校給食への食材供給など、中山間地域における食育活動等への貢献に加えて、子どもたちに接する熱意の姿が評価されました。



受賞された皆様、おめでとうございます！

(経営普及部

0285-82-3074)

いちご新品種「とちあいか」の紹介

「とちあいか（品種名：栃木i37号）」は、平成30（2018）年11月13日に出版公表され、令和2（2020）年7月28日に品種の名称が公表された県育成の新品種です。全国の皆さんに“愛”される“とち”ぎの“果”実になってもらいたいという願いを込めて命名されました。令和2年産から試験栽培が開始され、令和3年産の栃木県の作付面積は約19ha（全体の3.7%）で、芳賀管内では約5ha（全体の2.7%）で栽培されています。

「とちあいか」は「とちおとめ」に比べ収穫始期が約2週間早く、2～3割程度収量が多いのが特徴です。現在、先つまり果や先白果、空洞果の発生が課題となっており、原因の究明に取り組んでいるところです。食味は良好で酸味が少なく甘さが際立ち、消費者から高評価を得ています。小売店等で見かけた際には、是非ご賞味ください。



（経営普及部いちご園芸課 0285-82-3074）

芳賀町稲毛田地区における新たな梨団地整備の取組

「日本一のにっこり梨産地づくり」を掲げる芳賀町が主体となって、平成30(2018)年から新たな梨団地整備が本格化し、若手農家を中心とする有志8名による稲毛田梨団地利用組合が平成31(2019)年3月に設立されました（写真1）。

農業振興事務所では、先進地視察等を通じて、梨団地整備のモデル事例を関係者間で共有するとともに、果樹園の整備にあたっては、産地パワーアップ事業や果樹経営支援対策事業等の複数事業を効果的に組み合わせた支援を行うことで、新たな梨団地5.4haが令和3（2021）年度に完成し、そのうち約7割の面積に「にっこり」が定植される予定です（写真2）。

今後は、稲毛田梨団地利用組合に対して、共同育苗ほの運営や共同防除、研修生の受入れ体制など、組織運営の強化を支援し、担い手が活躍する「日本一のにっこり梨産地」を目指します。



写真1 稲毛田梨団地利用組合の設立総会



写真2 新規なし園の配置について協議

（経営普及部いちご園芸課 0285-82-3074）

家畜衛生対策の点検・確認を再度お願いします

★高病原性鳥インフルエンザや豚熱（CSF）が、昨年から全国各地の畜産農場で発生しています！

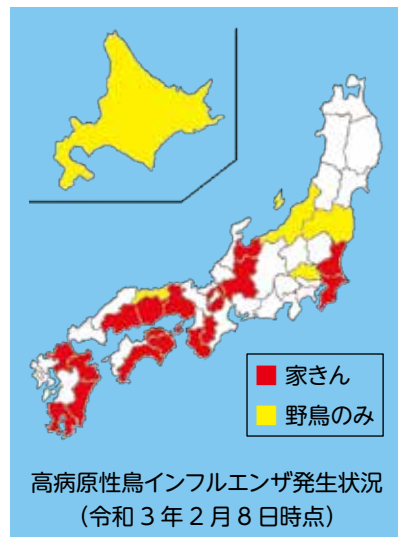
- 飼養衛生管理基準の再確認と、防疫対策の徹底について改めてお願いします。
- 家畜に異常が認められた場合は、速やかに獣医または家畜保健衛生所に連絡してください。

◆家さん飼養者の皆様へ

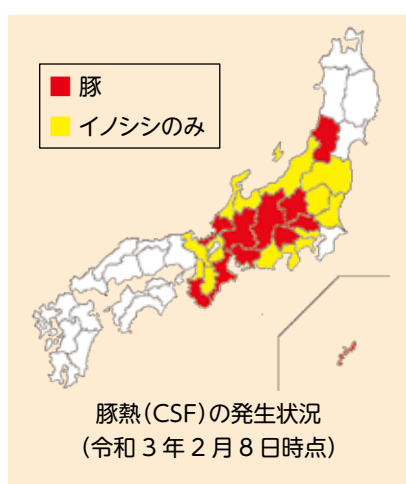
茨城県城里町で高病原性鳥インフルエンザが発生しました！

いっそうの警戒が必要です。

- 農場周辺の消石灰等による消毒を続けるとともに、野生動物の侵入防止対策の確認、鶏舎ごとの手袋や靴の交換等に努めて下さい。
- 農場の近隣に池や沼等がある場合は、特に注意をお願いします。



高病原性鳥インフルエンザ発生状況
(令和3年2月8日時点)



豚熱(CSF)の発生状況
(令和3年2月8日時点)

◆豚飼養者の皆様へ

ワクチン接種農場で発生した事例もあります。豚熱はワクチン接種のみで発生を完全に防ぐことはできません。

- 防護柵や防鳥ネットの設置、ネズミ等の衛生動物の駆除、農場出入口での消毒の徹底等をお願いします。

県中央家畜保健衛生所の連絡先
TEL 028(689)1200
携帯 090-7205-0895(夜間・休日)

(経営普及部農畜産課 0285-82-3074)

家族経営農業の「働き方改革」はここから！

家族経営協定を締結しましょう！

家族内で作業分担や休日等、特に決めずになんとか仕事をしていませんか？

家族みんなが意欲を持って取り組むには、働きやすい環境づくりが大切です。この環境づくりのために、ルールを文書で形にできるのが、「家族経営協定書」です。家族経営協定書を作成し、この機会に働き方改革しませんか？

家族経営協定の内容のポイントは、次のとおりです。

- ①就業条件の整備：労働報酬、休日等
- ②経営管理の充実：簿記、税務等
- ③円滑な世代交代：経営権の移譲、相続等
- ④生活面のルール：家事、家計等

これらの内容を話し合い、家族経営協定を締結して、家族それぞれが働きやすいと思う環境づくりを実践しましょう！

*既に締結している方

後継者の就農等経営の担い手に変化があった時には、協定内容の見直しをしましょう。

家族経営協定書の相談は、市町又は芳賀農業振興事務所までお願いします。

ハクビシンの捕獲と撮影動画の結果

益子町山本地区松本集落で、集落ぐるみで箱わなとセンサーカメラを設置し加害獣の特定と捕獲を実施しました。



わかったこと



やるべき対策



- 同じハクビシンが広範囲を移動！
- 収穫物がなくても、残さや庭に柿の実等があれば足しげく通う。
- ハクビシンが落とした果実をタヌキやアライグマも食べている。アナグマが開けた穴からハクビシンが侵入。
- ハクビシンと同じくらいアライグマの出没が多い。アライグマはハクビシンより繁殖力があります。

- ◎個別対策も必要ですが、集落ぐるみの侵入防止対策が効果的です。
- ◎まずは放任果樹をなくしましょう。いちごやぶどうの廃棄場所は、獣にとってはエサ場です。廃棄後はすき込みましょう。
- ◎加害獣はハクビシンだけではありません。獣道に箱わなを設置しましょう。中型害獣は甘いものや油っこいものが大好きです。

(アライグマは特定外来生物です！) ◎アライグマを捕獲したら市町へご連絡ください！



芳賀管内認定農業者のGAPの認証取得状況について

GLOBAL G.A.P. 認証

阿部徹 (芳賀町)

梨

個別認証
平成30年～
令和2年
12月27日
取得



GLOBAL G.A.P. 認証

鈴木俊喜 (芳賀町)

梨

個別認証
平成30年～
令和2年
11月30日
取得



とちぎGAPの第三者確認

稲毛田梨団地利用組合

梨 団体認証



JGAP 認証

大村トマト園

大村勝男 (芳賀町)

トマト 個別認証

令和2年～3年
3月10日取得



JGAP 認証

(株)ベリーズボタン

(真岡市)

いちご 個別認証

令和2年11月22日
取得



農業制度資金のご案内

農業近代化資金

農業経営の改善を図るために必要な設備投資等を行うときに低利で借りることができる最も一般的な資金です。

- 貸付対象者：認定農業者、集落営農組織、認定新規就農者、農業者等
- 限度額：個人 1,800万円、法人等 2億円
- 償還期限：7～20年以内（うち据置期間2～7年以内）

スーパーL資金 (農業経営基盤強化資金)

設備投資や農地の取得をするとき等、必要な金額が大きくなときに借りることができる認定農業者のための低利資金です。

- 貸付対象者：認定農業者
- 限度額：個人 3億円、法人 10億円
- 償還期限：25年以内（うち据置期間10年以内）

青年等就農資金

新たに農業を営もうとする青年等が経営を開始するために必要な長期資金として利用できる無利子の資金です。

- 貸付対象者：認定新規就農者
- 限度額：3,700万円
- 償還期限：17年以内（うち据置期間5年以内）

(管理部管理課 0285-82-4438)

地下かんがいシステム工事を実施しました！

令和2年10月、益子西部地区の水田圃場において、農地整備課が実証事業として推進している地下かんがいシステム設置に向けた工事を実施しました。このシステムを活用することによって、次の2つの効果が得られます。

1つ目は、用水路からの用水を暗渠排水に接続することで、地下からのかんがいが可能になるとともに、地下水位を調節可能になります。

2つ目は、暗渠排水と交差するように補助暗渠（もみがら）を2メートル間隔に入れることによって、格段に水はけが良くなります。

この実証事業は、水田で露地野菜生産の安定化に資する本技術を確立させ、広く県内への普及を図るために行っています。

工事完了後、実証圃場では令和3年6月の収穫を目指し、たまねぎの作付けが行われました。今後、実証圃場とその隣の比較圃場でたまねぎの生育を比較、土壌水分を測定することにより、水分と生育の相関について検証を進める予定です。そして、将来的に、作物に応じた水位を調整することによって、理想的な生育管理ができる作付けを目指しています。



工事の様子(補助暗渠工事)

(農村整備部整備課 0285-82-4939)

とちぎ農業ビジネススクール 応募者募集中!

農業大学校では、農業経営のレベルアップを目指す県内農業者向けに、販売戦略、商品開発、会計、雇用等の実践的な研修を行っています。講師は全国規模で活躍する著名な経営実践者・専門家などですので、ぜひお申し込みください!

- ◆申込期間 令和3年2月12日(金)～5月6日(木)まで
- ◆開催期間 令和3年6月～令和4年3月 全18回
- ◆会場 栃木県農業大学校

日本初の「いちご学科」が開設されます

令和3年度4月から栃木県農業大学校に「いちご王国・とちぎ」を担う人材を育成する「いちご学科」が開設されます。県内就農予定で、日本一のいちご経営を目指す方はぜひ御検討下さい。

※ビジネススクール・いちご学科の内容については、栃木県農業大学校HPをご覧ください。

新規就農者の調査について御協力をお願いします

県内の各農業振興事務所では、新しく農業を始めた方(令和2.5～令和3.4まで)を対象に、就農調査(聞き取り等)を行っております。調査のご理解とご協力をよろしくお願い致します。
また、就農者の情報や相談等がありましたらお知らせ下さい。

専門家に農業経営について相談してみませんか?

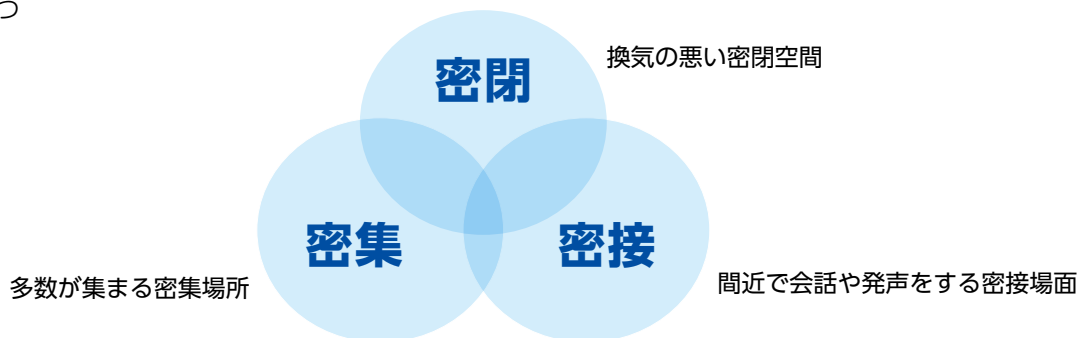
無料

農家の皆様が普段抱えている経営上の悩み(税金、雇用、相続など)について、専門家(中小企業診断士、税理士、社会保険労務士など)に無料で相談することができます!ぜひ御活用下さい!

- ◆申込方法 経営普及部経営指導担当(担当:村岡)に御連絡下さい。追って、普及指導員が内容確認でお伺いし、適切な専門家を選定します。
- ◆派遣先 申込者自宅
- ◆相談時間 2時間程度
- ◆その他 当日は確定申告書等の資料を提示いただく場合があります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの密を避けましょう

新型コロナウイルス感染症から、**あなたと身近な人の命**を守れるよう、日常生活を見直してみよう



(経営普及部経営指導担当 0285-82-3074)

▲各市町担い手育成総合支援協議会▲

真岡市担い手育成総合支援協議会 TEL0285-83-8137 益子町担い手育成総合支援協議会 TEL0285-72-8865
茂木町担い手育成総合支援協議会 TEL0285-63-5634 市貝町担い手育成総合支援協議会 TEL0285-68-1116
芳賀町担い手育成総合支援協議会 TEL028-677-1110